

郷土の偉人本多静六博士の偉業・生き方から

地域の魅力を再発見事業

—No.28 久喜市—

【事業の目的】

次世代を担う子供たちが、講演会や記念館見学を通して郷土の偉人「本多静六博士」の偉業について理解を深め、自らが生活する地域の魅力を再発見することで、地域への愛着心を醸成することを目的としています。

【事業の内容】

本多静六博士の偉業を市内全域に発信するため、久喜市立三箇小学校の6年生が講師となり、市内全小学校の5年生（各3名程度）を対象に講演会を行います。

講演会后、改修した本多静六記念館を見学し、講演で得た博士に関する知識を深めるとともに、記念館見学後に各小学生の5年生が各地域の魅力についてディスカッションを実施し、自らが住む久喜市の魅力を再発見することで愛着心を醸成するものです。

【事業年度】

平成30年度

【予算額(千円)】

638千円(ふるさと久喜愛着心醸成事業(予算上:本多静六博士顕彰事業))

3,489千円(本多静六記念館展示改修事業)

【財源】

ふるさと創造資金(県)、一般財源(市)、本多静六博士顕彰事業基金繰入金(市)

【事業実施に至った背景・経緯】

久喜市立三箇小学校では、本多静六博士の誕生月に併せた7月の本多静六週間で、博士の生き方などを教材化した道徳の資料を用い、全学年で授業が行われています。

また、3年生以上の総合的な学習の時間（夢の森タイム）では、子供たちが博士に関する課題を設定した学習を行い、特に、6年生は総合学習の成果を資料としてまとめ、保護者や地域の方に説明を実施しています。

このような活動などが認められ、平成29年5月には、第10回本多静六賞の特別賞を受賞したことから、博士の偉業を市内全域に発信することと地域の魅力を再発見することを目的とする講演会等を実施することとしました。

【事業のPRポイント】

- 次世代を担う子供たちが、自らが生活する地域の魅力を発見することで、地域への愛着心を醸成することに対して効果的です。
- 講演会を受講することに留まらず、記念館を見学し、ディスカッションを実施すること（きく・みる・はなす）で自らの理解をより深めるための事業構成としています。

【事業実績・成果・今後の展開】

<今後の展開>

講演会の実施や記念館の改修に向けて準備を進めていきます。

〔 連絡先 〕

企画政策課 企画政策係 0480(22)1111(内線2283)